

平成18年4月3日
文 部 科 学 省

平成18年度スーパーサイエンスハイスクールについて

文部科学省は、高等学校及び中高一貫教育校(中等教育学校,併設型及び連携型中学校・高等学校)(以下「高等学校等」という。)の科学技術・理科,数学教育(以下「理数系教育」という。)に関する教育課程等の改善に資する実証的資料を得るため,理数系教育に関する教育課程等に関する研究開発を行う高等学校等をスーパーサイエンスハイスクールに指定します。併せて,将来の国際的な科学技術系人材の育成や高大接続の在り方の検討の推進を図ります。

1. 経緯

文部科学省では,平成14年度から,科学技術・理科,数学教育(以下,「理数系教育」という。)を重点的に行う高等学校を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し,理数系教育に関する教育課程の改善に資する研究開発を行っています。

2. 指定校数

平成18年度においては,新たに31校を新規指定することになりました。〔平成15年度指定校(17年度末で指定期間満了)のうち改めて新規指定した12校を含む。〕。

この結果,平成18年度スーパーサイエンスハイスクールは,新規指定が31校,継続指定が68校の計99校となります。(17年度は82校であり,17校の増)平成18年度新規指定校と主な研究内容等は別添のとおりです。

< 新規指定校数 >

	応募校数	指定校数
公立	31校	24校
私立	12校	6校
国立	2校	1校
合計数	45校	<u>31校</u>

< 継続指定校数 >

指定年度	15年度	16年度	17年度
継続校数	<u>13校</u>	<u>20校</u>	<u>22校</u>

プレス発表資料

3．平成18年度指定校

新規指定は、45校から応募があり、31校を指定しました。

継続指定のうち15年度指定校の13校は、17年度末に指定期間満了になりますが、経過措置として1～2年研究を継続するものです。

4．審査

高等学校における理数系教育に関する教育課程等の改善に資する研究開発を行うに当たり、研究内容、研究計画及び研究体制等を中心に審査しました。

5．今後の予定

現在、各学校に対し、正式な指定申請書の提出を依頼中です。5月頃を目途に、本研究開発の進め方等に関する連絡協議会を開催する予定です。

(お問い合わせ)

初等中等教育局教育課程課	教育課程課長	常盤	豊
	視学官	井上	示恩
	学校教育官	石塚	等
	教育課程第二係長	小林	努

電話：03 - 6734 - 2903 (直通)

03 - 5253 - 4111 (内線2930)

平成18年度スーパーサイエンスハイスクール(新規指定)

	都道府県名	学 校 名	備考
1801	岩 手 県	岩手県立水沢高等学校	公立 *
1802	茨 城 県	茨城県立水戸第二高等学校	公立
1803	栃 木 県	佐野日本大学高等学校	私立
1804	群 馬 県	群馬県立高崎女子高等学校	公立 *
1805	埼 玉 県	埼玉県立川越女子高等学校	公立
1806	埼 玉 県	埼玉県立川越高等学校	公立
1807	東 京 都	東京都立小石川高等学校	公立
1808	東 京 都	早稲田大学高等学院	私立
1809	石 川 県	石川県立金沢泉丘高等学校	公立 *
1810	石 川 県	石川県立小松高等学校	公立
1811	長 野 県	長野県屋代高等学校	公立 *
1812	岐 阜 県	岐阜県立岐山高等学校	公立 *
1813	静 岡 県	静岡県立磐田南高等学校	公立 *
1814	愛 知 県	名古屋市立向陽高等学校	公立
1815	愛 知 県	名城大学附属高等学校	私立
1816	愛 知 県	名古屋大学教育学部附属中・高等学校	国立
1817	滋 賀 県	滋賀県立膳所高等学校	公立
1818	滋 賀 県	立命館守山高等学校	私立
1819	大 阪 府	大阪府立泉北高等学校	公立
1820	兵 庫 県	兵庫県立加古川東高等学校	公立
1821	兵 庫 県	兵庫県立豊岡高等学校	公立
1822	兵 庫 県	武庫川女子大学附属中学校・高等学校	私立
1823	和 歌 山 県	和歌山県立向陽高等学校・中学校	公立
1824	鳥 取 県	鳥取県立鳥取東高等学校	公立 *
1825	島 根 県	島根県立松江東高等学校	公立 *
1826	岡 山 県	ノートルダム清心学園 清心女子高等学校	私立
1827	徳 島 県	徳島県立城南高等学校	公立 *
1828	香 川 県	香川県立三本松高等学校	公立 *
1829	佐 賀 県	佐賀県立致遠館高等学校	公立
1830	熊 本 県	熊本県立第二高等学校	公立 *
1831	宮 崎 県	宮崎県立宮崎北高等学校	公立 *

(計31校)

右欄外の*は、平成15年度指定校のうち12校について、今回、改めて、新規として平成18年度スーパーサイエンスハイスクールの指定(指定期間:5年間)を行うもの。

平成18年度スーパーサイエンスハイスクール(継続指定)

(平成15年度指定)

都道府県名	学 校 名	備考
北 海 道	北海道帯広柏葉高等学校	公立
秋 田 県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	公立
茨 城 県	茨城県立竹園高等学校	公立
栃 木 県	栃木県立宇都宮高等学校	公立
神 奈 川 県	慶應義塾高等学校	私立
新 潟 県	新潟県立新潟南高等学校	公立
富 山 県	富山県立高岡高等学校	公立
福 井 県	福井県立高志高等学校	公立
愛 知 県	愛知県立一宮高等学校	公立
三 重 県	三重県立四日市高等学校	公立
和 歌 山 県	和歌山県立桐蔭高等学校	公立
広 島 県	広島大学附属高等学校	国立
長 崎 県	長崎県立諫早高等学校	公立

三重県立四日市高等学校、広島大学附属高等学校は、1年間継続。

(計13校)

*平成18年度指定スーパーサイエンスハイスクールの「継続指定」とは、平成15年度にスーパーサイエンスハイスクールとして指定した高等学校(15、16、17の3年間の指定)に対して、研究終了に伴う経過措置のため、1年又は2年間の指定の継続を行うもの。

平成18年度スーパーサイエンスハイスクール一覧

都道府県	平成16年度指定 (指定期間:16~18年度) 20校		平成17年度指定 (指定期間:17~21年度) 22校		平成18年度指定 (指定期間:18~22年度) 31校		平成14年度指定のうち2年間の終了経過措置に入る学校 13校	平成15年度指定のうち2年間の終了経過措置に入る学校 13校	
	学校種	学 校 名	学校種	学 校 名		学 校 名		学 校 名	
北海道							道立	帯広柏葉高等学校	
青森県			県立	八戸北高等学校					
岩手県					県立	水沢高等学校 2			
宮城県							県立	第一女子高等学校	
秋田県								県立	大館鳳鳴高等学校
福島県	県立	相馬高等学校					県立	安積高等学校	
茨城県					県立	水戸第二高等学校		県立	竹園高等学校
栃木県					私立	佐野日本大学高等学校		県立	宇都宮高等学校
群馬県			県立	高崎高等学校 1	県立	高崎女子高等学校 2			
埼玉県	県立	浦和第一女子高等学校	県立	大宮高等学校	県立	川越女子高等学校			
			私立	早稲田大学本庄高等学院 1	県立	川越高等学校			
千葉県	県立	柏高等学校					市立	千葉市立千葉高等学校	
	私立	芝浦工業大学柏高等学校							
東京都	都立	戸山高等学校	国立	東京工業大学附属科学技術高等学校 1	都立	小石川高等学校	国立	筑波大学附属駒場高等学校	
	私立	東海大学付属高輪台高等学校			私立	早稲田大学高等学院			
神奈川県			県立	西湘高等学校			県立	柏陽高等学校	
							私立	慶應義塾高等学校	
新潟県							県立	新潟南高等学校	
富山県							県立	富山高等学校	
							県立	高岡高等学校	
石川県	県立	七尾高等学校			県立	金沢泉丘高等学校 2			
					県立	小松高等学校			
福井県	県立	藤島高等学校						県立	高志高等学校
山梨県	県立	甲府南高等学校	県立	都留高等学校					
長野県			県立	諏訪清陵高等学校 1	県立	屋代高等学校 2			
岐阜県	県立	恵那高等学校			県立	岐山高等学校 2			
静岡県	県立	清水東高等学校			県立	磐田南高等学校 2			
愛知県					市立	名古屋市立向陽高等学校	県立	岡崎高等学校	
					私立	名城大学附属高等学校		県立	一宮高等学校
					国立	名古屋大学教育学部附属中・高等学校			
三重県	県立	松阪高等学校						県立	四日市高等学校 *
滋賀県	県立	彦根東高等学校			県立	膳所高等学校			
					私立	立命館守山高等学校			
京都府	府立	洛北高等学校	市立	京都市立堀川高等学校 1					
			私立	立命館高等学校 1					
			国立	京都教育大学附属高等学校 1					
大阪府	府立	天王寺高等学校			府立	泉北高等学校	府立	北野高等学校	
兵庫県	県立	神戸高等学校	県立	尼崎小田高等学校	県立	加古川東高等学校	県立	兵庫県立大学附属高等学校	
					県立	豊岡高等学校			
					私立	武庫川女子大学附属中学校・高等学校			
奈良県	県立	奈良高等学校	国立	奈良女子大学附属中等教育学校			私立	西大和学園高等学校	
和歌山県	県立	海南高等学校			県立	向陽高等学校・中学校		県立	桐蔭高等学校
鳥取県					県立	鳥取東高等学校 2			
島根県	県立	益田高等学校			県立	松江東高等学校 2			
岡山県			県立	倉敷天城高等学校	私立	パールダム清心学園 清心女子高等学校	県立	岡山一宮高等学校	
広島県			県立	広島国泰寺高等学校 1				国立	広島大学附属高等学校 *
山口県	県立	山口高等学校							
徳島県					県立	城南高等学校 2			
香川県					県立	三本松高等学校 2			
愛媛県			県立	松山南高等学校 1					
高知県							県立	高知小津高等学校	
福岡県			県立	小倉高等学校			県立	修猷館高等学校	
佐賀県					県立	致遠館高等学校			
長崎県			県立	長崎西高等学校				県立	諫早高等学校
熊本県					県立	第二高等学校 2			
大分県			県立	大分舞鶴高等学校					
宮崎県					県立	宮崎北高等学校 2			
鹿児島県			県立	錦江湾高等学校					
			私立	池田学園池田中学・高等学校					
沖縄県			県立	開邦高等学校 1					

(計 99校)

1 平成14年度指定で、平成17年度新規指定に採用された学校

2 平成15年度指定で、平成18年度新規指定に採用された学校

* 平成15年度指定で終了経過措置に入る学校のうち、三重県立四日市高等学校、広島大学附属高等学校の経過措置は1年間

スーパーサイエンスハイスクール

(前年度予算額	1,347,731千円)
平成18年度予算額	1,448,554千円

1 趣 旨

総合科学技術会議科学技術人材専門調査会や科学技術・学術審議会人材委員会における提言を踏まえ、科学技術・理科、数学教育を重点的に行う学校をスーパーサイエンスハイスクールとして指定し、将来の国際的な科学技術系人材の育成のための取組を着実に推進するとともに、高大の接続の在り方について大学と連携した研究やカリキュラムの作成の研究等についても推進する。

2 内 容

(1) スーパーサイエンスハイスクールの取組

観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習、課題研究の推進
高等学校及び中高一貫教育校における理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発（学習指導要領によらない教育課程の編成実施も可能）
大学や研究機関等と連携し、生徒が大学で授業を受講、大学の教員や研究者が学校で授業を行うなど、先進的な理数教育の実施
高大連携を推進する観点から、高大接続の在り方について、大学との共同研究の実施
国際性を育てるために必要な語学力の強化（英語での理数授業、講義、プレゼンテーション、演習等）
論理的思考力、創造性や独創性等を一層高めるための指導方法、教材等の開発
国際的な科学技術、理数系コンテストへの積極的な参加
科学技術系クラブ等の活動の充実
トップクラスの研究者や技術者等との交流、先端技術との出会い、全国のスーパーサイエンスハイスクールの生徒相互の交流・発表 等

(2) 対象

指定校数の拡充

75校 80校（高等学校、中高一貫教育校：指定期間5年間）

スーパーサイエンスハイスクール企画評価会議 28,554千円

研究開発協議会の開催等に要する経費（初等中等教育局）

スーパーサイエンスハイスクールにおける研究開発 1,420,000千円

に必要な実験機材・消耗品等の整備、人員の招へい、

科学技術系クラブ活動や相互交流等に要する経費

（科学技術・学術政策局（独立行政法人科学技術振興機構））

独立行政法人等運営費交付金中の推計額

スーパーサイエンスハイスクール

概要

H18年度 1,449百万円(H17年度 1,348万円)

将来の国際的な科学技術系人材の育成を図るため、新たなスーパーサイエンスハイスクールとして、先進的な理数教育の長期的な実施や、英語でのプレゼンテーション演習等による国際性を育成するための取組、高大接続の在り方について大学との共同研究を推進する。また、創造性、独創性を高める指導方法、教材等の開発等の取組を実施する。

「将来の国際的な科学技術系人材の育成」に向けた取組の推進



平成18年度スーパーサイエンスハイスクール（新規指定）研究内容

学 校 名	研 究 内 容
<p>いわてけんりつみずさわこうとうがっこう 岩手県立水沢高等学校</p>	<p>研究開発課題 ・独創的・創造的な研究の遂行と国際的に情報発信できる人材を育成する理科・数学・情報を重視した教育課程及び指導方法、並びに、遠隔地の大学や研究機関との効果的な連携方法や課題研究を通じての高大接続の在り方に関する研究開発</p> <p>研究の概要 ・独創的・創造的な研究の遂行と国際的に情報発信できる人材育成のため、理数系に重点をおいた教育課程の開発と大学や研究機関との連携による特別講義や体験学習の実施 ・学校設定科目「科学特講」「科学英語」の設置と既存の教科との連携により、課題研究（日本語による情報発信（論文作成、プレゼンテーション作成）英語による情報発信（英語論文作成、英語プレゼンテーション）の流れに沿ったプログラム整備と指導力強化 ・遠隔地の大学と連携を深めた課題研究を実施し、その内容を積極的に大学側に評価をしてもらう方策など高大接続に関する研究 ・科学部活動の強化、中学校・保護者との連携を深め意欲的な入学生を確保し、円滑に本研究開発を進めるための方策に関する研究 ・海外高校との交流による国際性の育成に関する研究開発</p>
<p>いばらきけんりつ 茨城県立 みとだいにこうとうがっこう 水戸第二高等学校</p>	<p>研究開発課題 ・科学に対しての高い興味・関心を持たせ、「科学大好き人間」の育成 ・「国際的に活躍できる女性科学者」の育成。そのために科学的思考力を高めるカリキュラムや教材、指導法の研究開発</p> <p>研究の概要 ・理科総合A、Bを統合した「自然科学概論」と情報Aに替え「自然科学概論」を創設。これにより、自然を総合的に見る能力、問題解決能力を持った「科学大好き人間」の育成 ・国際的に活躍できる女性科学者の基盤づくりとしてSSクラスを設置。理科と数学を統合した「数理科学」、情報と理科を融合した「SCS（スーパーチャレンジサイエンス）」及び「サイエンスイングリッシュ」等の理数系に特化した科目を実施し、課題研究を通して科学的思考力を持った生徒の育成 ・高大接続のための委員会を設置し、科学的研究能力に秀でた生徒に対して継続的な課題研究の在り方、大学入試選抜方法等について大学と共同して研究</p>

学 校 名	研 究 内 容
さのほんだいがくこうとうがっこう 佐野日本大学高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の科学技術社会が求める、物事を科学的・論理的に捉え解決することのできる資質や能力を養い、国際的視野とコミュニケーション能力を備えた優れた人材を研究開発の実践を通して育成 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい教科科目の研究として、科学的発想力・創造力、数学的・論理的思考力を育てるため、学校設定教科・科目「探究科学科(スーパー科学)(スーパー科学)(スーパー科学)」を設定し、指導内容・教材・指導方法等について開発研究 ・語学力を身に付け、倫理観に富んだ高い教養を身に付けるため、理科・数学・外国語・国語・公民などの既存の科目に、発展的内容と位置付け「特別授業」を設定し、指導内容や教材等について開発研究 ・全校生徒を対象とした研究者による講義を実施 ・大学進学後単位認定するための研究者講座や方法、基準を連携大学と共同で開発研究 ・進学した生徒の状況を調査し、AO 入試の方法を連携大学と共同で研究 ・地域・他校との関わりを密にし、科学技術系の人材育成のための研究会・講演会などを通じ互いに連携研究 ・中学校段階から好奇心・探究心を醸成するため、理数系大学の体験研修を実施
ぐんまけんりつ 群馬県立 たかさきよしこうとうがっこう 高崎女子高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間の研究成果を踏まえ、大学・研究機関と連携し体験的な学習を通して科学技術への興味関心を高め、国際社会で活躍できる女性研究者育成の基盤づくりと、その進路実現を目指した理数系教育プログラムの研究開発を推進 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学・研究機関等との効果的な連携により科学技術に対する生徒の興味関心をより高め、その進路実現を図る方策に係る研究 ・将来、科学技術系分野で活躍できる人材を育成するために、高校と大学との接続について、更に研究を深める ・国際社会で活躍するために、研究者に必要とされる語学力等の向上に係る研究 ・SSH クラスの生徒の学力向上を図る。その定量的な指標の開発に係る研究 ・学校設定科目「エキサイティング・サイエンス . . . 」を引き続き設定し、その年間指導計画の作成、内容の体系化及び評価の定量化に係る研究 ・SSH 活動の地域への普及等に係る研究

学 校 名	研 究 内 容
さいたまけんりつ 埼玉県立 かわごえじょしこうとうがっこう 川越女子高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子高校の特性を生かした理数系教育を軸に，女性科学研究者の育成と世代を超えた科学技術の継承・発展のため「科学を理解する母」，「科学的素養を身に付けた小・中学校の女性教員」の育成を目指す。理系文系の枠を超えて教科間連携を行い，全ての生徒に自然科学と，人文社会科学を総合した英知を育てる ・大学・研究機関等との連携により，一線の研究者をロールモデルとした経験・体験学習に取り組みせ，科学研究者として活躍する人材を育成するための基盤（論理的思考力，企画力，国際性，英語力，表現力）を身に付けさせる ・継続的人材育成のため教育学研究の手法を用いて，検証方法を含めたモデルシステムを構築 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性科学者・現代人の教養である科学的素養を身に付け次世代を育成することのできる人材の育成 ・女子高校の特性を生かした高大接続・研究機関等との連携を行い，共同で人材育成の推進 ・理系文系によらず全教科で連携し，指導内容・指導方法の工夫。更に授業改善を進め，総合的な理数系の力を育成するとともに体験学習等を通して，より高度な理数系学力の育成 ・英語力育成を更に強化し，加えて国際機関，海外の大学研究機関等との人的交流やITを活用した交流を行い，国際感覚を身に付けた科学技術系人材の育成 ・大学院・研究機関と連携し，SSH 成果の検証方法について共同研究しモデルシステムの構築
さいたまけんりつ 埼玉県立 かわごえこうとうがっこう 川越高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知の融合」をテーマに，人文・社会・自然科学といった既存の知の枠組みを超えた新たな学問分野で研究を行い，国際社会で活躍する，社会性と倫理観を備えた自律した科学技術研究者の育成 ・3本の課題を立て，教育課程，教育内容，組織の研究に全校で取り組むことで，生徒及び研究に関わる人々の変容を目指す ・研究は定量的データにもとづき仮説を立てて実施し，事後の分析結果を踏まえ，よりよい取組内容に発展 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの科学技術社会に必要とされる科学観，国際性，社会性・倫理観の育成 ・従来の科学の枠を超えた取組 <ol style="list-style-type: none"> (1) 科学技術・理科，数学教育（理数系教育）の改善の取組 (2) 最先端科学研究（地球環境とエネルギー，生命科学と情報，物質とテクノロジー） ・高大及び地域の小中学校と連携し，科学技術系人材を育成するネットワークの構築

学 校 名	研 究 内 容
<p>とうきょうとりつ 東京都立 こいしかわこうとうがっこう 小石川高等学校</p>	<p>研究開発課題 ・大学，研究所，企業との連携を図り，「理科好き・数学好きを育てる自然科学教育」の実現に向けたカリキュラム及び教材の研究開発</p> <p>研究の概要 ・科学的リテラシーを育成するためには，理科では何を実現すべきなのか，また，科学的リテラシーと数学的リテラシー，読解力，問題解決能力との関連性を持たせた他教科・領域での教育内容・方法は何かを明らかにする ・学校教育全体の中に，科学的リテラシーの育成を位置付けるとともに，他教科・領域等と関連させながら科学的リテラシーの実現を図る ・日本学術会議の組織的な支援を受けながら，都立小石川高等学校の理科教育の一層の充実と今年度開校した中等教育学校の6年間一貫した体系的な「理科好き数学好きを育てる」教育課程，指導内容・方法，教材開発等の研究・実践及びその検証を行い，我が国の中等教育における理科教育の充実・発展に資する</p>
<p>わせだだいがくこうとうがくいん 早稲田大学高等学院</p>	<p>研究開発課題 ・小規模（ミニ）テラホームイング施設を用いて，様々な実験から惑星環境システムを研究 ・身近な自然現象の研究から出発して，地球環境の在り方をシステムとしてとらえてゆく能力の向上 ・自然科学の総合的見知を有する先進的な研究者・技術者・宇宙開発専門家など，自然科学の諸分野で活躍できる人材を，高大一貫教育を十分に活用しながら育成 ・教育体制及び教員の資質の向上と指導方法の開発，例えば教材作成，実験開発，外部との教育ネットワークの構築などの研究</p> <p>研究の概要 ・早稲田大学理工学部や教育学部などからのアドバイスを得ながら，生徒が日常的に目にする自然現象や疑問を持つ現象，さらには実現してみたい自然環境を，地球環境解明の実験的テーマとして実践 ・最新の資源衛星などから撮影された画像や，リモートセンシングも実施 ・本研究のために，本校の理数系各学科はそれぞれ教材開発を行い，新実験の開発や方法の改良などを行う。この際，各学科が有機的に連携して，研究全体に関わっていく ・作成された優れた教材は，デジタル教材にし WBT に用いる。また，他校や研究機関との教育ネットワークを作り，生徒の自主的な学習研究活動を支援</p>

学 校 名	研 究 内 容
<p>いしかわけんりつ 石川県立 かなざわいずみがあかこうとうがっこう 金沢泉丘高等学校</p>	<p>研究開発課題 ・創造性・独創性を身に付け、国際的に活躍できる科学技術系人材を育成するため、高等学校の教育課程や指導法を研究開発するとともに、高校から大学へわたる指導の系統性を高める観点から、高等学校及び大学の教育内容や接続の在り方等について検討</p> <p>研究の概要 ・大学や研究機関等と連携しながら、学校設定教科「コスモサイエンス」及び「人間科学」、総合的な学習の時間「AIプロジェクト」、野外実習「つくばサイエンスツアー」、科学系部活動、科学コンクール等を通して、科学に対する興味・関心を高め、創造性や独創性を育成 ・学校設定科目「サイエンス・イングリッシュ」を開講し、英語での発表能力を高め、その成果を総合的な学習の時間「AIプロジェクト」での英語による発表、海外での科学研究発表や国際交流などにより確認し、国際的に活躍できる能力を身に付ける ・高校から大学へわたる指導が効果的に行われるよう、大学等と県内理数科設置校との懇談会を設け、高等学校及び大学の教育内容や接続の在り方等について検討</p>
<p>いしかわけんりつこまつこうとうがっこう 石川県立小松高等学校</p>	<p>研究開発課題 ・国際的に活躍できる科学技術系人材の育成を目指し、探究能力、人間力、発表力、国際性を育成する教育課程と指導法及び小・中・大学・企業との連携の在り方の研究開発</p> <p>研究の概要 ・学校設定科目や野外実習、大学・研究機関での体験学習等を通して、数学と理科4分野にわたる様々な実験・実習を系統的に実施し、課題発見能力や問題解決能力、発表力を高めることを目指し、そのために必要な教育課程や指導法の研究開発 ・小・中学校で「高校生による科学教室」を開催することで早期に科学に対する興味・関心を持つ児童、生徒を増やすとともに、高校生の人間力も育成。大学、企業と連携し内容を高めた課題研究を実施することや科学系部活動を活性化することで生徒の探究能力を育成。これらの目標達成に必要な小、中学校、高校、大学、企業の連携の在り方に関する研究開発 ・韓国及びルクセンブルクの高校との交流をはじめ、学校設定科目での学習等を通して、地球規模で事象を捉える視点や、国際的な科学コンクール等へも積極的に挑戦する資質を身に付けることを目指し、そのために必要な交流の在り方や教育課程、指導法の研究開発</p>
<p>ながのけんやしるこうとうがっこう 長野県屋代高等学校</p>	<p>研究開発課題 ・主体的・創造的に課題を発見し、探求し、国際的にも発表できる能力を持った生徒を育てるための、大学・企業・研究機関が一体となった教育課程と授業内容の研究開発及び評価方法の研究</p> <p>研究の概要 ・平成15年度から17年度まで実施した、第1期SSH事業の体験・探求重視の理数教育とその成果を受け継ぎ発展 ・1年次においては科学の基礎及び倫理を学び、生命科学に対する興味理解を増すための科目を設定 ・2・3年次では、将来日本の科学技術を担う人材を育成するのに効果的な外部連携授業の開発、授業改善への取組 ・プレゼンテーション能力の育成については3年間を通じて特に重視し、現在行われている「一人一研究」、各種コンテスト出品等の取組を継続発展して実施 ・平行して、国際性を涵養するために必要な語学力を育成するための科目や生徒の活動場を開発</p>

学 校 名	研 究 内 容
ぎふけんりつぎざんこうとうがっこう 岐阜県立岐山高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際性豊かな科学技術系人材としての資質を育むための理数系教育環境の構築 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現 SSH の成果を踏まえた学校設定科目群等の研究開発 ・全教科における論理的思考力，読解力・表現力等科学的リテラシーの育成 ・高大の接続性を踏まえたカリキュラムや進路指導体制の検討 ・国際性を養成するためのプログラムの検討 ・SSH 活動の成果の普及に関する工夫改善
しずおかけんりつ 静岡県立 いわたみなみこうとうがっこう 磐田南高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の科学技術分野におけるサイエンス・マインドを備えた真のリーダーの育成のためのカリキュラム，指導法及び教材等の研究開発 - サイエンス・マインドを備えた真のリーダーとは，理数系分野の高度な知識・技能はもとより，科学的倫理観・社会性及び国際性を備えたバランスのとれた意思決定能力を有する人材を指す - <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科・数学に重点をおいた理数系教育の改善のための研究開発 ・科学技術の研究・利用における倫理観の育成や社会性を涵養するための取組を実施 ・論理的思考力の育成を図るための取組を実施 ・国際性を育成するために英語力の強化 ・理数系部活動の充実と振興 ・大学や研究機関・地元企業との効果的な連携・接続の在り方について実践研究 ・研究成果の発信と研究交流の推進 ・進路決定のために多面的な取組を実施
なごやしりつ 名古屋市立 こうようこうとうがっこう 向陽高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> - 独創性・創造性に溢れた，国際性豊かな科学技術系人材の育成 - ・人間としての素養と基礎学力の充実を図りつつ，潜在能力を引き出し，論理的思考力と語学力を強化するための教育課程の研究開発 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では，学校設定科目「SS入門」を全員に履修させ，自然科学全般の講義・実験と自ら抱いた自然界の疑問を科学的手法で追求する高大連携による探究活動を取り入れ，「情報B」と連携し問題発見能力，情報活用力，調査研究力，プレゼンテーション力の育成を図る。また大学・研究機関等でのフィールドワークを実施し，自然科学への興味・関心を喚起 ・第2学年，第3学年では，きめ細かい指導と理数系科目と英語に重点をおいた教育課程を実施するためにSSクラス1クラスを設定する。「課題研究」では観察，実験，分析，考察という科学的手法をより高度化し，問題解決能力の向上を図り，独創性・創造性を身に付けさせる。理科，数学及び英語に「SS生物」「SS地球科学」「SS英語」等の学校設定科目を設け，系統的，発展的な内容の教材に取り組み，論理的思考力や語学力の育成 ・大学教授等による講義や課題研究指導，大学研究室での実験等を実施し，自然科学への興味・関心を深化 ・第2学年，第3学年を通じて論理的思考力，問題解決能力を育成し，独創性・創造性・国際性豊かな科学技術系人材の育成 ・連携大学留学生やオーストラリアからの交換留学生との交流会等を通じて国際理解を深める

学 校 名	研 究 内 容
めいじょうだいがくふぞくこうとうがっこう 名城大学附属高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高大連携教育による早期の動機付けと探究力・問題解決能力の育成～原理・原則に基づく科学の見方と実践方法の修得を通して～ ・ 共に教え、学びあうサロンの新しい学びのシステムの開発 ・ 学校独自の設定科目を加えた教育課程の開発 ・ 国際感覚を持った科学技術系人材育成への挑戦 ・ 科学系クラブ活動の充実による科学的興味関心の普及と課題研究の充実 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に向け、理系のみならず文系に進学希望の生徒に対しても、希望制で「高大連携講座」を開講 ・ 2年生では、理科系の生徒を対象に「先端科学」・「数理特論」・「バイオサイエンス特論」・「科学英語」などの科目を開講 ・ 3年生では、2年生で講座を履修した生徒を中心に、発展的な内容としての「課題研究」に取り組み、独創性・創造性・問題解決能力を養うとともに、情報機器を活用した英語によるプレゼンテーションに挑戦 ・ 学年を超える取組として、科学系クラブ活動の充実と、サロンの教育システムの導入により、学校全体の活性化と科学の普及を図る
なごやだいがくきょういくがくぶ 名古屋大学教育学部 ふぞくちゅう・こうとうがっこう 附属中・高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 併設型中高6年一貫教育において、発達段階に応じた「サイエンスリテラシー」を育成する教育課程を中・高・大の協同で研究開発 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先進的研究総合大学の知的・人的リソースに恵まれた教育環境を最大限に活用し、科学的思考力を持つ地球市民を育成するために、「サイエンスリテラシー」育成の6年一貫 SSH カリキュラムを中・高・大の協同で研究開発 ・ この教育課程では、6カ年を1 - 2 - 2 - 1制の4区分に分け、1)サイエンスリテラシーを育成する教育課程、2)自覚的なキャリア意識を育成する教育課程、3)協同的探究学習法と教育実践の実証的評価を大学と協同で研究開発し、実践 ・ 21世紀の科学技術の高度化、専門化、国際化する社会を、豊かな科学的思考力を持ち、科学の社会的営みを深く理解して生き抜く地球市民を育成

学 校 名	研 究 内 容
しがけんりつぜせこうとうがっこう 滋賀県立膳所高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的発見の喜びと感動 (Sense of wonder) を体験させる理数系教育を創造 ・SSH での経験と成果を評価する大学との高大接続の在り方を研究 ・国際交流を通じてグローバル (地域性を考慮した地球規模的) な視野を身に付けた国際的科学者の育成 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生きる力」(論理的思考力・批判的思考力・創造性・独創性)、「サイエンスリテラシー」の育成を目指す「ジー (Z) イズムの浸透」をテーマに、理数系カリキュラム開発 (ゼスト [Zest] プラン)、高大連携・接続の拡大充実 (ズーム [Zoom] プラン)、グローバルな視野に立った国際交流 (ジグザグ [Zigzag] プラン) の3つのプランに取り組む ・ゼストプランでは理数系科目の効果的な履修に関するカリキュラムの研究開発を行う。また、科学技術創造立国日本の未来を支える理数系教員を養成 ・ズームプランでは、高大接続の研究として、SSH での経験を評価するAO入試の導入について京都大学と協議・研究。また、SSH における学習が大学の単位として認定されるよう単位互換の研究を実施。大学・研究機関等との連携・共同研究を通して生徒だけでなく教員の意識改革にも取り組み検証 ・ジグザグプランでは、海外の教育・研究機関との連携を図り、国際交流を通じてグローバルな科学的視野とコミュニケーション能力を身に付けさせる ・各取組に対する検証については、評価の観点にもとづき客観性に配慮した評価法を研究
りつめいかんもりやまこうとうがっこう 立命館守山高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高大院連携による科学技術教育と文理融合教育を通して国際貢献 ・地域貢献を目指す「コミュニティー」創生 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高大院連携による科学技術教育と文理融合教育を通して国際貢献・地域貢献を目指すコミュニティー創生」事業として研究開発を実施 ・大学の研究開発拠点を高校キャンパス内に設置し、高大院連携教育や単位認定、高大院の「ファストトラック」制度 (実質的飛び入学制度) 等を課題とするカリキュラム・高大院接続の改善、地域における小中高教員のリカレント教育や学生・院生の派遣による地域社会の科学技術教育向上に取り組む ・科学技術教育をテーマとするキャリア教育やインターンシップ、アントレプレナーシップ教育等に系統的に取り組み、国際連携・地域連携による諸プロジェクトを進め、その集大成として滋賀県において「高校生国際『みず』フォーラム (仮称)」の開催を目指す

学 校 名	研 究 内 容
<p>おおさかふりつせんぼくこうとうがっこう 大阪府立泉北高等学校</p>	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験から理論へとつながる科学的感覚を育成するために、実験・実習を授業の流れの中に組み込み、情報機器や映像機器を積極的に活用した効果的な独自教材を開発 ・「総合科学」を新設し、情報の収集・処理・発信の手法の学習や主体的な課題研究 ・科学技術に関わる英語のコミュニケーション能力を高めるために、海外と様々な交流 ・大阪府立大学と連携し、高校と大学の科学教育を円滑に接続するための方策を共同で研究 ・地域の科学教育の拠点校として、小中学校から大学に至る一貫したカリキュラムを模索 ・「科学クラブ」が中心となって、小中学生対象の「泉北科学教室」を定期的に運営 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験実習を多く取り入れ、情報機器や映像機器を積極的に活用した独自教材を用いて、生徒が「体験し、感じる」ことから「考え、創造する」ことへつながる科学的感覚を育成 ・国際・科学高校の特徴を生かし、海外スタディツアーや理科研修等を実施することで、入学時には英語への関心が低い生徒に、英語の学習に対する重要性を認識させ意欲を高める ・大阪府立大学工学部と連携し、生徒が先端の科学研究に触れることで、理科の学習におけるモチベーションを高めるとともに、科学者としての感性を磨く ・自然環境に恵まれた本校の立地条件を生かして、環境教育に力を注ぎ、自然と人間との関わり、科学の果たすべき役割などを考え、研究者としての倫理観や使命感を身に付けさせる ・「科学クラブ」における生徒の自主的な研究を発展させる。また、本校生を講師とする中学校向けの「泉北科学教室」を開催し、その過程で、本校の生徒自らが、科学的知識の低さやつまづきに気付き、さらに理科の学習への意欲を高める ・自己評価、他者による評価、相互評価を随時行いその結果を発表し研究計画に修正を加える
<p>ひょうごけんりつ 兵庫県立 かこがわひがしこうとうがっこう 加古川東高等学校</p>	<p>研究開発課題</p> <p>『 K A K O から 未来へ 』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な科学知識に加えて、自らテーマを選び探求・研究する力や独創性を身に付けるための教育課程、教材及び指導方法等の理数教育プログラムの研究開発 ・地域や地域企業との連携を通して、本校が地域への科学発信源としての機能を果たすための、人材育成に対するプログラム開発 ・倫理観の育成や豊かな国際性を身に付けるための教育課程、教材及び指導方法等の教育プログラムの研究開発 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然科学分野における高度な知識に加えて、自ら探求・研究する力や独創性を身に付けた生徒の育成 ・地域や地域企業との連携 ・倫理観を備えた生徒の育成 ・豊かな国際性を身に付けた生徒の育成 ・科学系部活動等への支援

学 校 名	研 究 内 容
<p>ひょうごけんりつとよあかこうとうがっこう 兵庫県立豊岡高等学校</p>	<p>研究開発課題 ・ 少子高齢化や過疎化が進む地域にあって、情報機器等を活用した先進的な高等学校や国内外の大学・研究機関等との効果的な連携を通して、自然科学の基礎を培うとともに、科学的資質・能力を引き出し、地域社会や国際社会で活躍できる人材育成のための、効果的な指導方法・評価方法及びカリキュラムの研究開発への取組</p> <p>研究の概要 ・ 自然科学の系統化と総合化の育成 ・ 自然科学の地域性と国際性の育成 ・ 創造性・人間性と情報発信能力の育成 ・ 自然科学の幅広い基礎知識を習得し、自然科学者としての資質・能力を自ら育むための教育課程上の工夫 ・ 地域社会の理解の上に立ち、将来国際社会に貢献できる生徒の育成を目指した取組 ・ 最先端の自然科学に関する幅広い視野を持った生徒の育成を目指した取組 ・ 科学者にふさわしい社会性と自己表現力育成への取組</p>
<p>むこがわじょしだいがく 武庫川女子大学 ふぞくちゅうがっこう・こうとうがっこう 附属中学校・高等学校</p>	<p>研究開発課題 ・ 中・高・大女子一貫教育の伝統資源を総動員し、次の4課題を達成して、倫理観に富む研究者・高度技術者を志す女子生徒を多数育成するための研究開発 中学校では、全教科で基礎基本を徹底して研究能力の基礎を育て、高校へつなぐ教育の開発。高校では、理数を重視した学校設定教科・科目を配すカリキュラムの開発、研究と発表体験を重視する教育の開発、高大連携・高大接続の開発</p> <p>研究の概要 ・ 平成19年度から中学校にSSHコースを設置して、研究能力の土台づくりの教育を開始することを、広く周知 ・ 高校1年では、数学・理科の単位数を増やすとともに、学校設定科目数学演習、科学演習実験、特別教科理系英語を設定。そのため、少ない単位数となる教科を補う教科間協力や教材開発に努める ・ 数学演習、科学演習実験で研究基の礎力を養い、ミニ研究、ミニ発表で研究のスリルと発表の充実感を体験。卒業研究と英語によるプレゼンテーションを含む発表会につなげる ・ 様々な授業に、大学スタッフに入ってもらい高大連携を行う。研究意欲・能力を生かした、(ア)内部進学の新確立、(イ)他大学への推薦入学の開拓にも取り組む</p>

学 校 名	研 究 内 容
<p>わかやまけんりつ 和歌山県立 こうようこうとうがっこう・ちゅうがっこう 向陽高等学校・中学校</p>	<p>研究開発課題 ・科学に関する基礎知識の定着に向けての「学習」から主体的な「研究活動」に深化させる理数教育システムの構築 ・「環境問題」をテーマに、自然科学や社会科学の両分野から物事にアプローチするとともに、他教科で学習した知識の統合化を促し、多面的に考察・探究する力の育成 ・理系の併設中学校と連携し、6年間の中高一貫教育において体系的かつ高度な理数教育を行う教育課程の研究開発への取組</p> <p>研究の概要 ・主体的・創造的に科学や数学について深く学ぶため、中学レベルから大学レベルへの接続に向けて、実験・実習などの体験的な学習を中心とした理数教育の展開 ・環境問題学習では、科学技術と人間の生活の向上について認識を深めるとともに、科学的な観点から考察する態度の育成 ・環境政策問題を論題としたディベート学習などの取組を通して、情報の収集・整理・処理・活用能力、問題発見能力、問題解決能力、コメント力、コミュニケーション力などスキルの向上を目標とする環境問題学習を展開 ・「中高一貫教育」のメリットを活用した理数・環境教育プログラムの構築</p>
<p>とっとりけんりつ 鳥取県立 とっとりひがしこうとうがっこう 鳥取東高等学校</p>	<p>研究開発課題 ・基礎学力の充実を図りつつ、生徒の主体性や創造性を引き出し、科学的な能力・態度と国際感覚を備えた人材を育成するための理数系教育活動の研究・開発</p> <p>研究の概要 ・理数科の教育活動の一層の充実（学校設定科目の内容の再検討・精選と希望制による教育活動の充実、SSH教育課程の実施と評価） ・研究成果の普通科への波及（課題研究、サイエンスセミナー、海外研修への参加） ・SSH卒業生の追跡調査 ・国際性を高める取組の充実（中国上海・蘇州短期海外研修の一層の充実、オーストラリア研修の実施）</p>
<p>とっとりけんりつ 島根県立 まつえひがしこうとうがっこう 松江東高等学校</p>	<p>研究開発課題 ・普通科高校の標準的学力を有する生徒を、高い自己教育力を持つ生徒の育成及び学年進行に沿った段階的科学教育プログラムの開発</p> <p>研究の概要 ・カリキュラムを、1.興味関心を喚起すること、2.基礎学力を養成すること、3.研究に必要な能力を養成すること、4.大学・高校の学習内容をつなぐこと、以上4つをねらいとし、5つの学習プログラムで構成 ・1年生は基礎力養成プログラムと啓発プログラム、2年生は応用力養成プログラムと課題研究プログラム、3年生は大学入門プログラムの実施 ・啓発プログラム、課題研究プログラム及び大学入門プログラムには、大学との連携事業を含む。基礎力養成プログラム及び応用力養成プログラムの中で、科学英語運用力を向上させるサブプログラムを実施し、国内外に情報発信できる生徒を育成</p>

学 校 名	研 究 内 容
<p>のーとるだむせいしんがくえん ノートルダム清心学園 せいしんじょしこうとうがっこう 清心女子高等学校</p>	<p>研究開発課題 ・「生命科学コース」の導入から出発する女性の科学技術分野での活躍を支援できる女子校での教育モデルの構築</p> <p>研究の概要 ・平成18年度から設定する「生命科学コース」を中心に次の4項目を研究の柱にして、女子の理系進学を支援し、将来、科学技術分野で活躍できる人材を育成する女子教育システムを構築し、女子校のモデルケースとしての情報を社会に提供 (1)女性の科学技術分野での活躍を支援できる教育課程，教育内容の開発 (2)「生命」を科学的に捉える視点の育成 (3)女性の積極的に学ぶ姿勢とリーダーシップを育てる教材と指導法の開発 (4)大学や研究機関と連携した教育体制の構築 ・取組の公開，社会的な反応をフィードバックして改善</p>
<p>とくしまけんりつじょうなんこうとうがっこう 徳島県立城南高等学校</p>	<p>研究開発課題 ・「応用数理科」において，これまでの取組からさらに踏み込んだ発展的な理数系教育を展開 ・高等学校教育における基礎的な実験実習の充実，大学等との連携，また地元の科学施設や民間企業の研究施設の利用 ・21世紀の国際化に対応できる人材の資質として求められる独創性，創造性を涵養するための指導方法や教育課程について研究開発</p> <p>研究の概要 ・徳島大学，鳴門教育大学と連携し，より効果的な高大連携の在り方の研究 ・「科学英語」の学習や海外語学研修を通じて国際性を高める事業の実施 ・県内の科学施設や民間企業の研究施設の活用 ・実験器具，測定装置の基本的な操作方法を身に付けるための「基礎実験」の指導方法や教材についての研究 ・課題研究につながる「総合科学」についての指導法，教材開発の研究 ・自ら探求する数学を目指して「数学特論」についての指導法，教材開発の研究 ・SSH 部の活動をさらに活性化し，継続的で独創的な研究発表を可能とする活動についての研究 ・課題研究の成果を科学作品コンクールなどへの出品 ・研究の成果を徳島県総合教育センターのeラーニングのコンテンツとして提供するなどの，成果の公表</p>

学 校 名	研 究 内 容
かがわけんりつ 香川県立 さんぼんまつこうとうがっこう 三本松高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりを大切にしながら，基礎学力を基盤として柔軟な発想や表現力に裏打ちされた豊かな知性，人間性と国際性あふれる健やかな心を兼ね備え，夢に向かって自らの力でチャレンジする，独創的で個性的な人材を育む指導についての研究。並びに，研究成果の普及方法及び評価方法の研究 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験等を通じた問題解決的な学習，課題研究，国際性を育む学習活動の一層の推進 ・地域の身近な自然や環境，産業，技術，研究を対象とした地域に根ざした体験的な教育活動の一層の推進 ・学校と大学，科学系博物館，研究機関等による校外連携プログラムの新たな開発と一層の推進と高大接続に向けての効果的な在り方 ・SSH 研究開発の成果の普及と共有 ・学校設定科目や SSH 事業及びその取組にもとづく生徒の変容等に関する評価体制の一層の整備 ・生徒が3つの学年で継続的に取り組む「三本松高校新 SSH 夢 (Dream) ・挑戦 (Challenge) ・創造 (Creativity) プラン」の展開
さがけんりつ 佐賀県立 ちえんかんこうとうがっこう 致遠館高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然に対する深い洞察力を身に付けた科学系人材を育成するための，中高一貫教育の特性を生かした教育課程の開発」 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然科学の広がりや，人間・社会とのつながりを系統的に理解したり，先端の科学者から刺激を受けたりしながら，特に興味のある分野について議論や体験を通じて理解を深めていくことにより，科学的リテラシーが高まるだろうという仮説を設定し，中高6年間の教育課程の中での，より効果的なカリキュラムや教材の開発 ・各教科で得た知識を断片的に記憶するだけであつたり，うまく使いこなせなかったりする生徒が増えてきている現状を踏まえて，これまで行われてきた各教科の指導を基本としながら，実施時期や実施内容の変更，及び学校設定科目の設置による教科科目横断型の教材開発と授業の展開，さらに理数における発展的学習内容の設定による，より高度な考察力と問題解決能力の伸長 ・目標を達成するために，大学，企業等との連携
くまもとけんりつだいにこうとうがっこう 熊本県立第二高等学校	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会で活躍できる科学技術系人材育成のための語学力の向上を図る研究 ・大学や研究機関との連携を促進しながら，高大接続の在り方についての方策の研究 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語プレゼンテーション講座の開講や自然科学分野に関する英文読解ならびに英語での理科実験の体験学習，姉妹校との交流などを通して国際社会で活躍できる人材の育成 ・大学，最先端の科学技術関連施設等での校外研修や大学・研究機関等からの出前授業を実施し，高大接続の在り方についての方策に関する研究推進 ・理数系教科及び関連教科間の連携を通して，効果的な指導法を研究し，知の総合化の推進 ・理数科に学校設定科目「スーパーサイエンス . . . 」の設置 ・最先端の研究者等を講師とした特別講演会の開催や，課題研究を通して中高連携を図るとともに外部へ向けた成果の普及活動の推進 ・3年間の実績を踏まえ，各 SSH 事業をレベル1：全校生徒対象，レベル2：理数系対象，レベル3：理数科対象，レベル4：少人数対象とし，それぞれの目的に応じた対象者の厳選

学 校 名	研 究 内 容
<p>みやざきけんりつ 宮崎県立</p> <p>みやざききたこうとうがっこう 宮崎北高等学校</p>	<p>研究開発課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生命と環境」をテーマに据えて，国内外の高度な講義や最先端技術に触れさせ，高大接続を見通したハイレベルな課題研究を行わせることによって，科学的な感受性と論理的思考力を高め，我が国ひいては世界の科学の発展に寄与できる人材育成を目指す教育課程及び指導方法の研究開発 <p>研究の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学や研究機関等の講師による講義やサイエンスキャンプ等の活動を通した国際性と科学的な思考力を育成するプログラム開発の研究 ・高大連携の一層の強化による高大接続の基盤構築 ・各教科・科目における真の国際性と科学者としての素養を培う授業改善の研究と評価 ・学校設定科目等における海外の高校との交流及び次年度以降の共同研究の基盤づくり ・部活動・課題研究・その他の研究活動として「生命と環境」に関わる研究の推進